



学年団を訪ねて

自律的学習者の育成に向けて、 具体的な目標を設定し、生徒の日常に伴走する

福岡県立朝倉高校 1学年団

「朝倉高校の生徒は、教師から言われなくても自分に必要な学習ができる」。同校の卒業生でもある神坂貞和先生が抱いていたそうした生徒像は、近年少しずつ変化しており、自律的学習者の育成は、教師が取り組むべき課題の1つとなっている状況だった。



直面した課題

◎生徒の主体性を重視する同校だが、生徒の気質の変化の1つとして、自律的に学習を進められるようになるまで教師の手厚い支援が必要な生徒が多く見られるようになった。

◎赴任歴の浅い教師や若手教師が多いことから、生徒の情報を密に共有し、指導観をそろえていくためのコミュニケーションが必要だった。

学校概要

福岡県立朝倉中学校として開校し、2021年で創立113年を迎える歴史と伝統を誇る。「聡明・自立・敬愛」を校訓として、一人ひとりが自己実現を果たすとともに、国家・社会の発展に寄与する人材の育成を目指す。「文武両道」の校是の下、展開する部活動は、全国大会・九州大会に進出する部も多く、生徒の部活動加入率は90%を超える。高い知性 (Intelligence) と豊かな人間性 (Character) を身につけることで、自己実現と社会貢献を行える人材を育成する課題研究プログラム「朝倉I・Cプログラム」など、次世代人材の育成にも力を注ぐ。



設立 1908 (明治41) 年
形態 全日制/普通科/共学
生徒数 1学年約 240 人

2021年度入試合格実績 (現浪計) 国公立大は、広島大、九州工業大、九州大、長崎大、熊本大などに73人が合格。私立大は、東京理科大、明治大、同志社大、立命館大、関西大、西南学院大などに延べ518人が合格。

最初の学年会議で打ち出した 指導コンセプト「自律に至る他律」

福岡県中南部の中核校としての歴史を積み重ね、生徒、保護者、地域の期待に応えてきた福岡県立朝倉高校。だが近年、「朝倉高校に入学できたから、今後の進路は安心だ」と、入学段階で満足し、広い視野で進路を考える生徒が減ってきたと、2021年度の1学年主任になった神坂貞和先生は感じていた。

「最近では、地元を志望する生徒が多くなりました。有名私立大学の指定校制の学校推薦型選抜でも、関東や関西の大学の場合、志願者が現れないこともあります。もちろん、地元志向が悪いわけではありませんが、地元の大学でしか学べない学問に興味があるといった理由があつての志望ではなく、自分の身近な世界で満足しているように思います。生徒には、広い視野と挑戦心を持って進路を選択してもらいたいと思っています」

学習面において生徒の主体性を尊重する伝統を持つ同校でも、家庭学習時間の減少傾向が顕著であり、かつてのような「教師から言われなくても必要な学習ができる」という生徒の気質に変化が見られるようになってきた。そこで神坂先生は、「探究学習や進路指導の充実とともに、日々の学習においても、

今、何を、どのくらい行うべきかを生徒に明確に示す必要がある」と考えるようになった。

「教師に示されたことをしっかりと行えるといった、本校の生徒の素直さは今も変わりません。そうした生徒のよいところを生かしたいと思いました。そこで、1年次の指導コンセプトとして、『自律に至る他律』を最初の学年会議で先生方に示しました。1年次は、教師に伴走してもらいながら、すべきことができるようにし、2年次には、自律的に学習ができるようにする。3年次は、他者のことを考えながら行動できるようにする。そのよううな、3年間で段階的に生徒を育成する指導ストーリーを学年団で共有したので」

日々の家庭学習記録を活用し、 学習意識を高める

「自律に至る他律」を実現するために学年団で活用しているのが、神坂先生が作成した「学習状況調査」だ（P.34図）。1か月分が1枚のシートになっており、その月の生活・学習面の目標、家庭学習時間の目標総時間数（あらかじめ記載されている。生徒は同シートに日々の学習時間を記録するだけでなく、起床時間や学習開始時間など、生活リズムを整える上でポイントとなる時間を一定にでき



リーダーに聞く！ 5つのQ&A

Q どのようなチームを目指しましたか？
生徒の成長のために、明確な目標を持って、ぶれずに進んでいけるチームです。

A リーダーとして心がけていることは？
先生方の思いや考えをくみ取り、学年団の動きが円滑になるよう、調整する労をいとわないこと、困っている人がいたら助けること、そして、ぶれないことです。

Q 学年団としての「成功」は？
2年生になった時に、自律していけるような下地が1年次にできていることです。

A リーダーとして自覚する
長所は何ですか？
先生方にお願ひ事をする時に、なぜそれが必要なのか、どのようにすればよいのかを、納得できるように説明できることです。

Q リーダーとして自覚する
短所は何ですか？
先生方への配慮、気遣いがまだまだ足りないと感じています。若輩者の私が、もしかするとストレートな物言いをしてしまっていることがあるかもしれませんが、先生方は「生徒のためなら」と受け止めてくださっています。先生方の人柄に救われていると感じます。

図 学習状況調査

第1学年 11月学習状況調査										評価		今月の振り返り		目標 5300 分		実施		組 番 氏名		
月間目標: ①自己分析・自己理解に努め効果的に学習習慣をつける!																				
月間目標: ②模試、考査受験前・模試、考査受験後の取り組みの徹底																				
日付	行事(変更が有るもので注意すること)	行動の記録					毎日やること(O,Δ,×)		学習の記録(分)							満足度	1日の振り返り			
		起床 時刻	夕食 開始 時刻	学習 開始 時刻	入浴 開始 時刻	就寝 時刻	TV マンガ ゲーム等 (分)	スマホ (分)	勉強 時間 (分)	国語	数学	英語	現代 社会	理科	その他			合計	累計	OΔ×
1月		6:00	20:00	21:00	20:30	2:00	0	0	0	5	60	60	0	0	0	180	180	○		
2火		6:00	20:00	21:00	20:30	2:00	0	0	0	5	60	60	0	0	0	180	360	△		
3水	文化の日	7:00	19:30	21:00	20:30	2:00	0	120	0	×	3	60	60	90	0	30	240	510	○	
4木		6:00	20:00	21:00	20:30	2:00	0	0	0	0	5	60	0	60	0	180	690	△		
5金		6:00	20:00	21:00	20:30	2:00	0	0	0	0	5	60	0	60	0	180	870	△		
6土	進研総合学力テスト(1,2年)	6:00	21:00	22:00	20:30	2:00	0	60	0	×	0	60	60	0	0	180	1050	△		
7日		9:00	20:00	23:00	21:30	2:00	0	120	0	×	3	0	60	0	60	180	1230	○		
8月		6:00	20:00	21:00	20:30	2:00	0	0	0	0	5	30	60	30	0	150	1380	○		
9火	暴力団排除・薬物乱用防止講演会	6:00	20:00	20:30	21:00	1:00	0	60	0	0	5	60	0	60	0	180	1560	○		
10水		6:00	20:00	21:00	20:30	2:00	0	0	0	0	5	60	60	60	0	240	1800	○		
11木	考査時間別発表	6:00	20:00	21:00	20:30	2:00	0	60	0	0	5	30	0	60	0	180	1980	○		
12金		6:00	20:00	21:00	20:30	2:00	0	0	0	0	5	60	30	60	0	180	2160	○		
13土		6:00	21:00	23:00	21:30	2:00	0	60	×	×	1	0	60	30	0	150	2310	×		
14日		6:00	19:30	21:00	20:30	2:00	0	0	0	0	3	0	60	60	0	180	2490	○		

神坂学年団で活用している学習状況調査。1か月分が1枚のシートになっており、生徒は1日の家庭学習時間などを毎日記入して担任に提出している。部活動が忙しい時などは、生徒は普段通りの学習ができないなど、学習面の調整力に課題が見られる。だからこそ、1か月という期間で学習時間をコントロールすることが大切だと生徒に伝え、学習状況調査の意義を感じさせるようにしている。

※学校資料をそのまま掲載。

たかどつかを自己評価し、その結果に対するコメントを一言書いて、担任に毎日提出する。学校が掲げる目標をクリアすることで、生徒に自信をつけさせようと考えたのだ。

1学年担任の清末莉央奈先生は、自分のクラスで目標学習時間を達成した生徒数を集計・開示するなど、学習状況調査を学習意欲の向上につなげることを心がけている。

「毎日、学習状況調査を確認して、学習時間が増えてきた生徒、教科バランスを意識した学習ができてきた生徒を褒めるのですが、生徒はとてうれしそうに顔を上げてくれます。ちょっとした頑張りや教師が認めることは、生徒のやる気を高めるのだと思います」

毎日の生徒の短いコメントの中に大切なサインが隠れていることがあると説明するのは、1学年副主任の泉信至先生だ。

「例えば、『昨日、家の壁をたたいた』と、一言だけ書いた生徒には、『何かあったの?』と声をかけます。そのように、生徒は自分で処理しきれない感情を、学習状況調査に書くことがあります。担任として、特に目を向けるべき生徒を、学習状況調査から見つけることができます」

学習状況調査で発見した注視すべき生徒のことは、学年団全体でも遅滞なく共有したいと、神坂先生は考えている。そのためにも、学年団で生徒のことを気軽に話せる雰囲気

をつくることを心がけている。

「報告・連絡・相談といった改まったものではなく、生徒に関する会話を楽しめる学年団でありたいと思っています。ただ、ざっくばらんに話せるようになるためには、会話することへの慣れが必要です。私や経験の豊富な泉先生が率先して、授業やホームルームで印象に残った生徒の言動、さらには自分の失敗談などを積極的に話すようにしています」

「1学年団の結束力は、他の学年団の注目を集めている」と、今年度、同校に赴任した1学年担任の井上貴博先生は語る。

「他学年の先生から感心した様子で、『1学年団は、重要な議題から軽い雑談まで、よく話をしていますね』と、言われたことがあります。私のような本校勤務歴の浅い教師にとって、日々の雑談は、週1回の正副担任会での情報共有と同じくらい、本校の実態を理解する機会になっています」

若手教師に学年主任としての思いを伝える

1学年団には若い教師も多い。そのため、神坂先生は、学年主任としての思いを伝えることを大切にしている。数学科の荻洋人先生は、神坂先生から「生徒が家庭学習の教科バランスを整えることに苦労しているので、数



学年団を訪ねて



1学年担任
清末莉央奈 きよすえ・りおな
教職歴4年。同校に赴任して3年目。
研修課・総務広報課。英語科。



1学年担任
荻洋人 おぎ・ひろと
教職歴7年。同校に赴任して3年目。
教務課。数学科。



1学年担任
原田貴史 はらだ・たかし
教職歴7年。同校に赴任して7年目。
生徒育成課。保健体育科。



1学年担任
井上貴博 いのうえ・たかひろ
教職歴22年。同校に赴任して1年目。
教務課。数学科。



1学年副主任
泉 信至 いずみ・しんじ
教職歴24年。同校に赴任して8年目。
進路指導課。地歴公民科。



1学年主任
神坂貞和 かみさか・さだかず
教職歴16年。同校に赴任して7年目。
国語科。

学の課題を減らしてもらえないか」と相談されたことがあるという。

「複数の生徒の学習状況調査に『数学の課題が多くて大変』と書いてあったと、神坂先生から声をかけられました。学年団として生徒の学習上の教科バランスを重視していることは、正副担任会での神坂先生の話で理解していたつもりでしたが、担当教科の課題を減らすという一歩が踏み出せていませんでした。しかし、『私たちは、どんな生徒を育てたいのだろう』と神坂先生に問われ、考えるうちに、指導が不十分なのではないかといった教師の不安感から、生徒に課題を与え続けるのはエゴだと気づき、課題や授業のあり方を変えようと決意しました。今は、教師として新たな挑戦をしている気持ちです」(荻先生)

「実は、荻先生と話をする前に、同じ数学科の井上先生に相談したのです。井上先生からは、『荻先生なりに生徒のことを思っている懸命やっているので、その点を酌んで言葉をかけてあげてくださいね』と言われました。その言葉があったから、『課題を減らしてください』と言う前に、指導の本質を荻先生と一緒に考えることができました」(神坂先生)

1学年担任の原田貴史先生は、神坂先生が保護者面談に同席した時のことを振り返る。「高校生活に慣れることができずに苦労し

ている生徒と保護者を迎えて面談をした時、私は『授業に出ることが大事だよ』と、生徒に言いました。すると、同席してくれた神坂先生は、『原田先生の言う通りだよ。でも今は、授業のことはあまり気にしなくていい。学校に来るだけでも十分だよ』と、生徒に寄り添った言葉をかけてくれました。経験の豊富さと懐の深さを感じました」

2学期も残りわずかとなる中、生徒の学習時間は着実に増えている。2年次も学習状況調査は続けるが、学年としての目標学習時間は示さない予定だ。他律から自律へ——神坂学年団の指導は絶えず進化している。

* 学年団 輝きのポイント *

- * 指導コンセプトに基づいて生活・学習面の目標や達成すべき学習時間を設定し、学習状況調査を活用して指導の足並みをそろえた
- * 日頃から生徒に関する会話を楽しむなど、対話を通じて学年団の結束力を高め、問題解決にあたる